

第15回 法人研究発表大会 記念大会

委員会活動報告 2023

今年は3年ぶりとなるフルスペック開催を行いました！



第15回法人研究発表大会 記念大会 2023.2.19

今回は第15回記念大会。3年ぶりとなるフルスペックの開催となりました。皆さんマスクをして距離を取るなど、感染対策は継続しながらも、大阪国際会議場の大会議場を埋められる人数に参集いただき、盛大に大会を催すことができました。法人研究発表大会実行委員の皆様、参加者の皆様、ありがとうございました。

最初に理事長から事業方針や取組みなど、主に入職予定者向けのお話があり、次に永年勤続表彰へと移ります。今年は理事長ご自身、宝塚ちどり施設長として30年の永年勤続表彰を受けられ、その際江川総合園長からサプライズ演出もありました。その後、辞令交付式を経て保育・介護に分かれての研究発表へと続きます。

全ての発表終了後、ゆめ伴プロジェクトin門真実行委員会の総合プロデューサー、森安美氏より、基調講演を賜りました。「認知症になっても輝けるまちづくりの実践」。身の回りのちょっとした出来事や一言をヒントに、自らの「思い」を大きなうねりに変えていく、その発想力と行動力に驚かされる内容で、若い人たちにとってもとても刺激になったことと思います。ありがとうございました。

▼ 次ページに続く

保育部門は全14報告、介護部門は全16報告が行われました。保育部門からは、子育てに悩まれている母親の深刻な事例や、手洗いが終われない子を見守る事例など、小規模保育施設からの力が入った報告が印象に残りました。また、食育活動を通してSDGsを考えたり、「自分らしさ」に焦点を当てて、ジェンダーフリーを考えるなど、現在の日本が直面する課題を取り上げた、意欲的な発表も目立ちました。

介護部門では、今回初めて、3つの施設から外国人職員の発表が行われました。それぞれの報告は「外国人人材育成プログラム」「スムーズなコミュニケーション」「ミラバス導入」というもの。二つについては外国人材ならではの報告でしたが、「ミラバス」は日本人の発表でも何の問題もない内容です。つまり外国人材との垣根が、ここまで無くなって来ていることが、発表の中身以上に印象的な出来事でした。

1001～1003会議室 発表風景（保育部門）



1008、1009会議室 発表風景（介護部門）



大阪国際会議場：朝方は荒れ模様の天候でしたが、徐々に回復して行きました。

